

なりゆきの未来から意志ある未来へ

「経営品質賞受賞企業5社の
ウェルビーイング実践事例」Well-
being

本セミナー開催の背景・目的

本年度 第2回目の 自己革新セミナーを下記日程にて開催します。

今回は、経営品質賞受賞企業 5社にご協力頂き、各社がウェルビーイングの視点で、具体的にどのような取り組みを実践されているかについて ご紹介致します。ウェルビーイング推進のポイントを8項目に整理しましたので、各ポイントごとに、各社より報告頂きます。

自社でどのような取り組みをすれば良いか悩まれている方 必修です。

質疑の時間も取りますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日程 日程：令和7年 12月 2日（火） 10:00～17:00

場所 (株)現場サポート 鹿児島中央サテライトオフィス +Monso(モンソ)

対象 各社のウェルビーイングの事例を学び、自社の仕事に生かしたい方
※鹿児島県経営品質協議会 会員以外の方も積極的に参加下さい。

参加費 無料

募集人数 定員：40名 定員になり次第 締切ります。
お早めに申込み下さい

研修概要とスケジュール

ウェルビーイング推進の8つのポイント		10:00～12:00	昼食	13:00～17:00
①	組織の目指す将来像「ありたい姿」を描き、共有・共感する。	■		
②	「幸せの形」を可視化するアンケート (エンゲージメント・幸福度調査)		■	
③	個人の成長と会社の成長を直結させる目標設定と取り組み			■
④	上司と部下の間に信頼関係をつくる1on1			■
⑤	シームレスなコミュニケーションを実現するシステム			■
⑥	自分を知ってもらい、相手を知ることのできる自己開示の文化			■
⑦	社内に「ありがとう」が飛び交う仕組み			■
⑧	従業員が行きたくなるオフィス			■

登壇頂く講師の皆様紹介

- (1) トップ保険サービス(株) お客様サービス部長 千々和 豊 様
(2017年度、2024年度 2度の日本経営品質賞受賞)
- (2) (株)肥後銀行 経営企画部 サステナビリティ推進室長 坂口 尚 様
経営企画部 サステナビリティ推進室 企画役代理 河野 彩 様
(2019年度 日本経営品質賞受賞)
- (3) (株)九州タブチ 経営企画部 経営企画課責任者 原口 英明 様
(2018年度 日本経営品質賞受賞)〔顧問：KQA事務局 二宮 直光〕
- (4) (株)藤田ワークス CHO取締役最高人事責任者 竹内 恵理菜 様
(2017年度 鹿児島県経営品質賞 知事賞受賞)
- (5) (株)現場サポート 常務取締役開発本部長 川畑 勇喜 様
(2019年度 鹿児島県経営品質賞 知事賞受賞)

備考

昼食は各自でご準備下さい。(昼食休憩は 1時間確保予定)
駐車場は、近くのコインパーキングをご利用ください。

ウェルビーイング推進の8つのポイント

下記ウェルビーイング推進の8つのポイントについて、各社より具体的な取り組み事例を紹介頂きます。各社なりに工夫された取組みになっていますので、是非ご参加ください。

	項目	ウェルビーイング推進のポイント
①	組織の目指す将来像「ありたい姿」を描き、共有・共感する。	ありたい姿とは、組織が目指す将来像であり、ゴールです。理念や社訓などの価値感や心がまえ、道徳律ではなく、将来の組織の姿や状態を表します。それは、組織のベクトルをあわせ、ゴールへ向かうための変革の原動力になります。自組織に関係する人たちが共感し、共に目指したいと思える内容であること、シンプルでありながら誰もが具体的にイメージできるものです。
②	「幸せの形」を可視化するアンケート（エンゲージメント・幸福度調査）	従業員のエンゲージメントやモチベーションの向上を経営方針に掲げ、従業員満足度調査やモチベーションの調査など、従業員に対してアンケート方式で回答してもらう調査は多くの企業で行われてきました。特に最近では「幸せの形」を可視化し、取り組むことで幸せが増していくような幸福度アンケートに取り組む事例も出てきています。
③	個人の成長と会社の成長を直結させる目標設定と取組み	自分の仕事が会社の成長に貢献している、社会への価値を生み出しているという実感は、働きがいをつくる上で大事な要素です。しかし、自分の仕事が会社の中でどんな立ち位置にあるのかは、なかなか見えないものです。従業員の目標をチームの、そして会社全体の目標と接続させる目標設定や取組みが大切です。
④	上司と部下の間に信頼関係をつくる1on1	「VUCAの時代」と言われている昨今、新たな価値情報を提供し続けるSNSなどの進展に伴い、人々の価値観、ライフスタイル、働き方は大きく変容しており、企業はいち早く、その変化に気付き、対応することを余儀なくされています。そうした変化に社内の誰かが気付き、その気付きが経営層を含め、社内に共有されていくには、どんなことでもすぐに言い合える関係性が重要です。上司と部下の1on1ミーティングを通して、信頼関係を構築します。
⑤	シームレスなコミュニケーションを実現するシステム	価値感の共有活動や組織の活性化活動など様々な活動を通して、情報発信・共有の重要性は増々高くなってきています。また、昨今は自然災害の発生などに伴い、緊密な情報を交換する頻度も増加しています。しかし現在はリモートワークやフリーアドレスの会社が増えています。そうすると連絡を取りたい相手がどこにいるのか、どんなツールで連絡をすればいいか迷うことがあります。シームレスなコミュニケーションを実現する仕組み（システム）の構築が重要となってきています。
⑥	自分を知ってもらい、相手を知ることのできる自己開示の文化	初対面の相手や、相手のことをほとんど知らないような場合、その人の考えていることがわからないと、疑心暗鬼になってしまいます。相手に不安を感じると、チームのみんなで走っていくことができません。信頼関係には段階があり、それを一つずつ登っていく必要があります。自分を知ってもらい、相手を知ること、コミュニケーションの入口をつくります。
⑦	社内に「ありがとう」が飛び交う仕組み	ウェルビーイングを考える上で、「感謝」は外せないキーワードです。しかし、仕事の中では、なかなか感謝を伝えられないのも事実です。そこで、さまざまな場を活用し、感謝を伝える仕組みや風土を構築することが重要になります。ちょっとした「ありがとう」を、いつでも誰にでも、簡単に送れる仕組みをつくることで、そこから、相手に対する理解やチームワークが生まれてきます。
⑧	従業員が行きたくなるオフィス	従業員やその家族にとっても、ここで働きたい、社員思いのいい会社と思える環境の整備はとても重要な要素です。特に最近では、リモートワークの割合が増えてきています。メリットの多い働き方ですが、同時にコミュニケーション不足は生まれる原因になっています。新しいアイデアは、人と人との結合から生まれます。「会社に行こう」と思えるようなオフィスの環境設計について考えます。

自己革新セミナー②参加申し込み

なりゆきの未来から意志ある未来へ

「経営品質賞受賞企業5社のウェルビーイング実践事例」

日時

令和7年12月2日(火) (10:00~17:00)

研修会場

(株)現場サポート 鹿児島中央サテライトオフィス +Monso(モンソ)
住所: 〒890-0045 鹿児島市武1丁目2番10号 JR鹿児島中央ビル 7F(706)
※外のエスカレーターにて2階に上がり、エレベーターにて7階へ

申込方法

下記に必要事項をご記入の上、FAX 又は メールにてお申込みください。
鹿児島県経営品質協議会 事務局 担当 古田まで
FAX:099-219-1279 (E-mail:y-furuta@kisc.or.jp)

定員

定員:40名(定員になり次第 締切ります。お早めに申込み下さい)

申込期限

令和7年 11月25(火)まで

備考

昼食は各自 ご準備下さい。(昼食休憩は 1時間確保予定)
駐車場は 近くのコインパーキングをご利用ください。

貴社名等

担当の方のメールアドレスは必ずご記入下さい

貴社名		担当者名	
住所		電話番号	
Eメール		FAX番号	

参加される方

氏名	部署・役職名	補足(ご希望等)

鹿児島県経営品質協議会 研修委員会

申し込み/問い合わせ先: 鹿児島県経営品質協議会事務局 古田 《(公財)かごしま産業支援センター産業振興課内》
TEL:099-219-1272 FAX:099-219-1279 (E-mail:y-furuta@kisc.or.jp)